

桜中だより

長崎市立
桜馬場中学校

校長 大塚 潤

いよいよ二者面談

親子で決める進路

みなさんは、将来に向かって「生きる力」を身に付けるという大きな目標をもって、学校生活を送っています。学活の時間を中心にして、集団生活の向上や学習上の問題、健康・安全に対する心構えなどについて考えると共に、自分にふさわしい進

路を選択し、決定するための調査・研究や体験学習などを行うことにより、卒業後の自己の在り方を学んでいます。

めまぐるしく変動する社会の中にあっても、進路の決定に当たっては、時代や社会の変化に流れ、受動的に適応しようとする姿勢ではなく、自らすすんで自己を正しく生かそうとする「**人生設計の「環」**としての進路を考えるようにしたいものです。」



さくら学級 芋掘り頑張りました

親子で決める進路

■検討課題■

- ① どうしてその高校に行きたいのか。自分の夢や希望を実現させることができるか。
- ② それは本人の選択か。
- ③ 学力は十分か。自分の能力・性格・適性・興味などにふさわしいか。

④ 学科（コース）はよく検討したか。自分の希望する職業に必要な資格などを取得できるか。

⑤ 経済的な問題はないか。

⑥ 実力、持ち味を十分伸ばし、個性が発揮できる進路選択になっているか。自分の期待している学校生活を送ることができると計画か。

・我が子が、進路先でのびのびと精一杯、自分の能力（個性）を発揮でき、

楽しい中にも充実した生活を送る見通しがある。

・我が子の人格や心を豊かに成長させていける見通しがある。

・我が子が将来にわたって自信をもって独り立ちできる見通しがある。

⑦ 進路選択の上で捨てた考え方

・〇〇高校では格好がつかない……

・みんなが行くからせめ

いただきます

「この年になると、ことばの重みをしみじみと考えるようになる。そのことばのひとつが「いただきます」。辞書をひくと「飲食する直前に言う、あいさつの言葉。私は勝手に、2つの意味を含ませていただきます」と言っている。

一つは、献立を考え、食材を求め、調理してくれた人への感謝の意味。

もう一つは、私達が食事をするということとは、動植物のいのちをいただいているということに思いをはせる意味。

「生き物の死にざま はかない命の物語（稲垣栄洋著）」を読むと、心からすまないという気持ちになる。牛肉をおいしくいただくが、牛が食肉となる流れ作業の様子を想像すると、何も考えずに食べることもできなくなる。牛は人間にとって殺されるために、生まれてきた動物である」という。鶏も豚も同じような運命をたどる。

生きるためとはいえ、私達は多くの動植物の命を奪っている。近年よく話題に上る「食品ロス」は日本では年間600万トン、1日に10万トン、トラック1700台分の食品が廃棄されているという。中には大量の肉や魚や野菜が含まれている。もちろん給食の残食も。「食欲の秋」だ。だからこそ、「いただきます」の意味の重さを思い手を合わせたい。

「おかあさん、今日も「飯をつくらせてくれてありがとう。いつもおこいっしょ」

て〇〇高校へ……

・入学すれば後はなんとかなるだろう……

子どもの将来への見通しがないと、我が子が壁にぶつかつた時、乗り越えられずに「中退」になりかねません。

子どもが自信をもてる進路選択ができるよう、しっかりと親子で話し合いをした上で三者面談に臨んでください。

教育相談

1・2年生は教育相談が行われます。目的は次のとおりです。

- ①一人一人の子どもを尊重し、個性の伸長を図りながら、豊かな心の育成を目指し、成長への援助を図る。
- ②子どもの持つ悩みや困難とその要因となる生活環境や背景を理解し、個別の教育的支援の充実を目指す。
- ③将来の進路に対する興味・関心を高め、自己の将来について考えを深めさせる場とする。
- ④教育相談を通して、様々な課題に対して、自分



3-3英語の研究授業 頑張りました

考えて、自分で決めて、自分で動き出す態度を養う。

「自分」「健康」「学習」「友人」「学校生活」「家族」「いじめ」の項目について、不安や悩みがあるかどうかアンケートをとり、それを元に相談を実施します。子供たちの困り感をできるだけ解消すると共に、安心して学校生活や家庭生活を送る一助としたいと考えています。また、ネガティブな面だけではなく、生徒が自分の良い面を知り、自分を伸ばしていく機会にもしたいと考えています。

一方で、学校だけでは、把握できない面もありますので、何かございましたら、ぜひご連絡ください。また、継続して寄り添う。仲間づくりを進める。

「向き合い」子どもと触れ合い、思いや願いを知る

「受け止める」子どもを共感的に理解する

「つなぐ」適切な援助を行い、継続して寄り添う。仲間づくりを進める。

「ひらく」学級の問題などオープンにして全教職員が一体感をもつて共通理解する。

子ども神輿を終えて

地域の皆さんと一緒に交流できたので、中学校最後の思い出になった。

でも、次の日まで肩が痛くてきつかったけど、楽しかった。

3年2組

○神輿を担いでの坂道はきつかったけど、その分楽しかったこともあった。

それは太鼓をたたいたり、声を出してかけ声をする事です。きつかったときに地域の方々が励ましてくださり、貴重な体験ができました。

1年1組

○自分は太鼓をたたきました。太鼓をたたきたびに地域の人たちが嬉しそうに見てくれていて、それが自分も嬉しくて、すごく楽しかった。

2年1組

○幅広い世代の方との関わりができて楽しかった。また、回っているときもいろいろな方が声をかけてくださってやる気が出たし、何より嬉しかった。

2年1組

○私は神輿を通して地域に貢献すること、学年か

変わらずに協力することの大切さを知りました。特に地域貢献では、自分でもできることがあつて嬉しかったです。また来年も参加したい。

2年3組

○私は今回参加して思ったことは、地域のために頑張ることはものすごく楽しくて、地域の方にも褒められてものすごく嬉しかった。

2年2組

○桜馬場や矢の平地域は坂が多くて、今年は気温も高く大変だったけど、みんなで楽しくいろいろな人と交流できたので、来年もまたしたいなと思うた。

1年3組

○子ども神輿に参加して、地域の人たちとの交流や学年関係なく協力して頑張ることや団結について学んだ。特に神輿を担いでいるとき、地域の方にたくさん励ましの言葉をもらい、地域の方の温かさを感じた。私はこの経験を生かし、伊良林地区を活気づけたい。

2年1組

きれいな町づくり運動

1 日時

令和6年11月22日(金)13:50~

2 目的

- ①学校内や地域の清掃を行い、地域をきれいにし、地域に貢献する。
- ②小学生・中学生・教職員・保護者・地域の方々など、様々な年代の人と交流し、社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める態度を育む。
- ③地域社会の一員としての自覚を持って、郷土を愛する態度を育む。

保護者の皆様、当日参加も大丈夫です。子どもとふれあうことで、子どもの成長を楽しんでいただくと嬉しいです。SakuraがさらにUPしますように。生徒の皆さん、共に生きていることの喜びを味わい、自分が地域に何ができるかを考えるきっかけにしてほしいと思っています。

キュビナ強化月間を終えて

10月は「キュビナ強化月間」でした。平均解答数は1年生「436問・2年生「450問・3年生「306問」。

各学年の最も解答数が多かったクラスは次のとおり。よく頑張りましたね。

1年3組	563問
2年1組	570問
3年1組	448問

期末テストに向けて、更に効果的にキュビナを活用しようぜ。